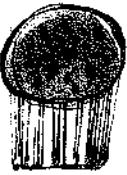


ゆりかご えんだより

2020.6.1



2期(6~9月)のねらい
からだづくり活動を通して子ども
関係の質を高めよう

北海道知事の緊急事態措置
による登園自粛要請期間中の、
保護者皆様のご協力に感謝
します。おかげさまで職員も交替で
在宅勤務をすることができました。あり
がとうございます。

そんなある日、2歳児の食事の様子を覗いてみました。5月に入園したばかりのJくんがどんな様子か見たかったのです。皆と一緒に食べていたJくんでしたが、なぜか急に泣き出してしまいました。私は、まだ園に慣れていないためお母さんやお父さんが恋しくなったのかなと思いました。そんな新入園児の心細い気持ちを知つてもらえたなら、と思い周りの子たちに「どうして泣いているのだろうね?」と声をかけてみました。食べるごとに夢中の子どもたちの返事は、「知らない」と素っ気ないものでした。

「そっか、まだ入園したばかりのJくんに対する仲間意識はそれほど無いのがもしかないな」と思つていると、後から「矢口てる」の声が。Tくんです。Tくんによると「T先生が来たのに、すぐいけなくたからだよ」ということでした。「え、そうなの? T先生がいけなくたから泣いてるの?」と半信半疑で聞くと、うなずくTくん。「お母さんに会いたくなかったから泣いたの?」と聞くと首を横に振るのでTくんの言ふとおりのようでした。

この日、幼稚園クラスの保育士が在宅勤務のため、2歳児クラスのT1保育士が応援に行つたのでした。幼稚園より早い時間に昼食を食べていた2歳児の様子を見ようと、チラッと部屋を覗いたT1保育士。JくんにとってT1保育士は心を寄せることのできる大人だつたのでしょう。安心できる存在のせんせいが顔を見せたのに、またいけなくたため悲しくなったようでした。ことはを介さなくても、まわりの状況から他者の気持ちを理解したTくんにとても驚きました。ことはで関わることはもちろん大切ですが、相手の思いを理解したり共感する気持ちも育つほしいなと思います。

ちなみに、この件を午睡後にTくんに確認しようとしたが、「え、ほんのこ」と?というような表情で全く覚えていなかったようでした。Tくんにとっては印象深いことは何がかったのか?それとも2歳児の記憶にはそれほど遡れないのか…。子どもたちと関わると、改めて感心することや面白い発見がたくさん!!